

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月23日

上場会社名 ニッパン(日発販売株式会社)
 コード番号 7563 URL <http://www.nippan-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月30日

上場取引所 東

(氏名) 石川 隆重
 (氏名) 佐々木 孝
 配当支払開始予定日

TEL 03-5690-3005
 平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	15,499	△25.1	30	△91.8	25	△93.0	100	△43.4
21年3月期第2四半期	20,692	—	369	—	367	—	177	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	4.52	—
21年3月期第2四半期	7.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	19,324	6,300	6,300	32.4	32.4	281.11
21年3月期	18,592	6,197	6,197	33.0	33.0	275.89

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,257百万円 21年3月期 6,141百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,100	△13.1	500	△22.1	490	△22.4	360	48.4	16.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社 (社名) 除外 1社 (社名 NHKインフォテックシンガポール有限)
 公司

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	22,800,000株	21年3月期	22,800,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	541,350株	21年3月期	539,570株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	22,259,077株	21年3月期第2四半期	22,629,698株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお上記業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における国内経済は、昨年の秋以降急速に悪化した景気が最悪期を脱し、底打ちの兆しが見られるものの、実態経済は依然として厳しい状況にあります。また、雇用情勢や所得環境も悪化し、さらに急速な円高による企業業績の悪化が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループが主力をおきます自動車業界においても、減税並びに補助金支給の対象となる、いわゆるエコカーの販売が予想以上のものになり、自動車生産台数は回復傾向にありますが前年の水準には及ばず、また補修部品市場におきましても保有台数の減少による市場規模の縮小傾向が止まらず、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このようななか、オートパーツ事業では新車の販売不振に加え、貨物輸送の減少から特に大型車の交換部品の販売が振るわず、売上を伸ばすことができませんでした。プレジジョンパーツ事業ではハイブリッド車向け部品については当初の予想よりは好調に推移しましたが、前年同期には及ばず、減収となりました。またIT事業においても、企業の設備・情報投資が回復しておらず、減収となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は15,499百万円（前年同期比25.1%減）、営業利益30百万円（前年同期比91.8%減）、経常利益25百万円（前年同期比93.0%減）、四半期純利益100百万円（前年同期比43.4%減）となりました。

セグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

[オートパーツ事業]

自社ブランドグリーン商品の売上は増加したものの、補修用ばねをはじめとする大型車部品の売上が減少し、連結売上高は6,257百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は11百万円（前年同期営業損失35百万円）となりました。

[プレジジョンパーツ事業]

特にインジェクタ部品や加工品をはじめとした産業用機器・部品の売上が減少し、連結売上高は8,436百万円（前年同期比31.6%減）、営業利益は47百万円（前年同期比88.3%減）となりました。

[IT事業]

機械設備や精密加工品の売上が落ち込み、連結売上高は804百万円（前年同期比44.8%減）、営業損失は28百万円（前年同期営業利益0.6百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ732百万円増加いたしました。

流動資産は、13,043百万円となり、668百万円増加いたしました。これは、主として受取手形及び売掛金が746百万円増加したことなどによります。

固定資産は、6,280百万円となり、63百万円増加いたしました。これは、主として繰延税金資産が61百万円減少したのに対し、投資有価証券が112百万円増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は13,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ629百万円増加いたしました。

流動負債は、12,649百万円となり、544百万円増加いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が298百万円、短期借入金が291百万円増加したことなどによります。

固定負債は、374百万円となり、85百万円増加いたしました。これは、主としてリース債務が43百万円増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は6,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円増加いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が76百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結会計期間末と比べ171百万円（16.7%）増加し、1,196百万円となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、425百万円となり前年同四半期と比べ50百万円減少いたしました。これは、主として売上債権の増減額が1,058百万円減少したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、74百万円となり前年同四半期と比べ82百万円増加いたしました。これ

は、主として有形固定資産の取得による支出が50百万円減少したことなどによります。
(財務活動によるキャッシュ・フロー)
財務活動による資金の増加は、194百万円となり前年同四半期と比べ4百万円減少いたしました。これは、自己株式の取得による支出が139百万円減少したのに対し、短期借入金の増加額が138百万円減少、リース債務の返済による支出が29百万円増加したことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、今後の見通しを勘案し、平成21年4月27日発表の予想数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。尚、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

平成20年3月21日開催の取締役会で清算を決議したNHKインフォテックシンガポール有限公司につきましては、平成21年8月7日付けをもちまして会社抹消登記が完了したため、連結子会社より除外しました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,196,193	1,346,997
受取手形及び売掛金	6,768,359	6,021,725
商品及び製品	3,407,814	3,431,111
その他のたな卸資産	24,798	12,704
未収入金	1,338,981	1,268,218
繰延税金資産	197,698	191,026
その他	124,481	119,455
貸倒引当金	△14,399	△15,898
流動資産合計	13,043,927	12,375,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,524,254	1,572,944
土地	3,056,549	3,064,956
その他(純額)	480,178	426,379
有形固定資産合計	5,060,981	5,064,281
無形固定資産	32,511	34,531
投資その他の資産		
投資有価証券	632,302	520,057
長期貸付金	188,188	208,126
繰延税金資産	7,505	68,905
その他	406,379	379,409
貸倒引当金	△47,334	△58,205
投資その他の資産合計	1,187,040	1,118,293
固定資産合計	6,280,534	6,217,106
資産合計	19,324,462	18,592,446
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,137,014	7,838,358
短期借入金	3,619,799	3,328,636
リース債務	103,535	50,417
未払法人税等	33,766	51,395
役員賞与引当金	12,862	32,100
その他	742,509	804,342
流動負債合計	12,649,487	12,105,249
固定負債		
リース債務	103,890	60,444
退職給付引当金	35,230	30,255
役員退職慰労引当金	216,847	198,616
繰延税金負債	18,703	—
固定負債合計	374,672	289,315
負債合計	13,024,159	12,394,565

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,040,345	2,040,345
資本剰余金	1,251,391	1,251,391
利益剰余金	3,105,157	3,057,994
自己株式	△150,566	△150,217
株主資本合計	6,246,328	6,199,513
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,906	△2,358
繰延ヘッジ損益	△4,824	—
為替換算調整勘定	△58,357	△55,652
評価・換算差額等合計	10,725	△58,010
少数株主持分	43,248	56,378
純資産合計	6,300,302	6,197,881
負債純資産合計	19,324,462	18,592,446

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	20,692,603	15,499,388
売上原価	17,141,413	12,543,109
売上総利益	3,551,189	2,956,279
販売費及び一般管理費	3,182,032	2,926,137
営業利益	369,157	30,141
営業外収益		
受取利息	2,435	2,542
受取配当金	22,401	3,891
仕入割引	27,663	15,332
その他	7,978	15,814
営業外収益合計	60,479	37,581
営業外費用		
支払利息	18,482	17,085
手形売却損	19,887	9,653
売掛債権売却損	10,988	—
売上割引	7,233	7,091
その他	5,724	8,053
営業外費用合計	62,317	41,883
経常利益	367,319	25,839
特別利益		
固定資産売却益	918	130,445
投資有価証券売却益	1,882	—
貸倒引当金戻入額	—	770
特別利益合計	2,800	131,215
特別損失		
固定資産除却損	1,076	1,182
会員権売却損	—	190
投資有価証券売却損	—	7,101
貸倒引当金繰入額	3,000	—
投資有価証券評価損	17,622	—
事業清算損	9,401	—
退職給付制度移行損失	9,288	—
特別損失合計	40,388	8,474
税金等調整前四半期純利益	329,731	148,580
法人税、住民税及び事業税	190,961	36,495
法人税等調整額	△35,684	24,529
法人税等合計	155,277	61,024
少数株主損失(△)	△3,478	△13,130
四半期純利益	177,932	100,685

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	329,731	148,580
持分法による投資損益(△は益)	819	△568
減価償却費	69,377	133,098
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,480	△12,370
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,100	△19,238
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14,134	4,975
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,670	18,230
受取利息及び受取配当金	△24,837	△6,434
支払利息	18,482	17,085
投資有価証券評価損益(△は益)	17,622	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△918	△130,445
有形固定資産除却損	1,076	1,182
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,882	7,101
退職給付制度移行損失	9,288	—
会員権売却損益(△は益)	—	190
売上債権の増減額(△は増加)	311,616	△746,634
たな卸資産の増減額(△は増加)	△246,401	11,201
仕入債務の増減額(△は減少)	△302,608	298,655
未払消費税等の増減額(△は減少)	△39,819	30,586
未収入金の増減額(△は増加)	—	△70,766
その他の資産の増減額(△は増加)	△157,938	△30,444
その他の負債の増減額(△は減少)	△25,887	△25,579
小計	△60,361	△371,591
利息及び配当金の受取額	23,601	5,267
利息の支払額	△18,446	△17,089
法人税等の支払額	△319,785	△42,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	△374,991	△425,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66,843	△16,806
有形固定資産の売却による収入	88,802	62,268
投資有価証券の取得による支出	△26,692	△6,931
投資有価証券の売却による収入	2,470	20,511
会員権の売却による収入	—	759
貸付けによる支出	△10,000	△680
貸付金の回収による収入	4,263	15,667
無形固定資産の取得による支出	△350	△543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,349	74,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	430,020	291,163
自己株式の取得による支出	△140,307	△348
リース債務の返済による支出	—	△29,995
配当金の支払額	△91,076	△66,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	198,636	194,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,378	6,449
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△197,084	△150,804
現金及び現金同等物の期首残高	1,222,128	1,346,997
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,025,044	1,196,193

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョン パーツ事業 (千円)	IT事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,897,964	12,336,922	1,457,716	20,692,603	—	20,692,603
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	6,897,964	12,336,922	1,457,716	20,692,603	(—)	20,692,603
営業利益又は営業損失(△)	△35,161	403,642	676	369,157	—	369,157

(注) 1 事業区分は、商品の種類及び販売経路の共通性を考慮しております。

2 事業区分の主要商品

事業区分	主要商品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、等速ジョイント、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ワンタッチバンド、ねじ、ナット、クランプ、金属資材
IT事業	光ファイバーアッセンブリー用部品、光通信デバイス用精密加工品、プラスチック光ファイバー端面加工器、コンピュータ周辺機器、セキュリティ商品・サービス、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、機械装置、測定機器、環境処理装置

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョン パーツ事業 (千円)	IT事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,257,680	8,436,756	804,950	15,499,388	—	15,499,388
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	6,257,680	8,436,756	804,950	15,499,388	(—)	15,499,388
営業損失(△)	11,754	47,188	△28,801	30,141	—	30,141

(注) 1 事業区分は、商品の種類及び販売経路の共通性を考慮しております。

2 事業区分の主要商品

事業区分	主要商品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、等速ジョイント、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ワンタッチバンド、ねじ、ナット、クランプ、金属資材
IT事業	光ファイバーアッセンブリー用部品、光通信デバイス用精密加工品、プラスチック光ファイバー端面加工器、コンピュータ周辺機器、セキュリティ商品・サービス、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、機械装置、測定機器、環境処理装置

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。